



荷電化粒子検出器ユーザーフォーラム 2021

HPLC分析において、もっとも一般的に用いられているUV検出器は、吸光物質を選択的に検出するという特性のため、吸光を持たない成分を見逃してしまうことがあります。また、得られるシグナルは物質固有のモル吸光係数に依存するため、未知成分を定量することができません。このようなUVの特性を補完する検出器として、さまざまな成分の検出および定量的評価を可能とするユニバーサル検出、荷電化粒子検出器が活用されています。

本フォーラムでは、荷電化粒子検出器を使用する3名の講師から、医薬品や食品における分析事例、そして装置をより効果的にご活用いただくオープンアクセスでの運用事例をご紹介します。また、当社からは荷電化粒子検出器を多くの用途に活用するためのシステム構成や、より効率的に運用いただくための便利な機能についてご紹介します。

UV検出器のみの運用で課題を抱えている方、荷電化粒子検出器の新たな活用方法や、より効率的な運用方法を模索している方は、ぜひこのフォーラムにご参加いただき、分析業務にお役立てください！

名称	荷電化粒子検出器ユーザーフォーラム 2021
会場	オンラインにて実施
日時	2021年 4月23日 (金) 14:00~16:40
お申し込み	thermofisher.com/jp-corona-uf2021
お申し込み締切	2021年4月16日 (金) 17:00まで
参加費	無料

※開催日の2日前に、お申し込み時にご登録のメールアドレスに参加URLを記載したメールをお送りします。

フォーラムの詳細およびお申し込みはこちら

thermofisher.com/jp-corona-uf2021



14:00～14:10	オープニング
セミナー1 14:10～14:45	<p>簡単・効率的に荷電化粒子検出器 (CAD) を使いこなすことができる便利機能と活用法のご紹介</p> <p>サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社</p> <p>すべてのクロマトグラムのメソッド移管が可能な最新技術を搭載したThermo Scientific™ Vanquish™ Core HPLCシステムとThermo Scientific™ Chromeleon™ クロマトグラフィデータシステムを組み合わせることで、効率的にCADを使いこなすことができる便利な機能を解説します。また、Thermo Scientific™ ISQ™ EC シングル四重極質量分析計と組み合わせることで広がるCADの活用法もご紹介します。</p>
セミナー2 14:45～15:20	<p>低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価におけるコロナ荷電化粒子検出器の活用</p> <p>富士フィルムワコーケミカル株式会社 技術開発センター 北畠 睦己 先生</p> <p>低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価には、これまで手軽に使用できるUV検出器を用いたHPLC法が多用されてきた。しかし近年、UV吸収を持つてはいるが感度不足であったり、全くUV吸収を持たないターゲットが増加してきたことから、コロナ荷電化粒子検出器を導入した。本公演では、低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価におけるコロナ荷電化粒子検出器の活用事例を紹介する。</p>
セミナー3 15:20～15:55	<p>荷電化粒子検出器 (CAD) を用いたオープンアクセス純度判定システムの構築</p> <p>旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター 研究推進部 後藤 徳仁 先生</p> <p>創薬研究における試験化合物の純度チェックを目的として、逆相HPLCと荷電化粒子検出器 (CAD) を組み合わせたオープンアクセス純度判定システムを構築した。これにより、研究者は随時、信頼性の高いデータを入手できるようになった。紫外吸収のない物質も網羅的に検出できるため、このデータは優れた純度判定の材料となる。本発表では、CADをオープンアクセスで使用する際の課題とその対応について紹介する。</p>
セミナー4 15:55～16:30	<p>食品分析における荷電化粒子検出器 (CAD) の適用事例～甘味料の一斉分析～</p> <p>地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 衛生化学部 新矢 将尚 先生</p> <p>高甘味度甘味料の使用量や含有する食品の種類は近年増加傾向にある。それらは複数成分を混ぜ合わせて使用されることが多いが、化学的性質の違いから分析法は成分ごとに定められており、効率的な一斉分析の必要性が高まっている。荷電化粒子検出器 (CAD) は、物質の化学的構造に依存しない一貫した応答性を有し、多成分同時分析が可能であることから、CADを用いた食品中の甘味料分析法を開発し、その事例について紹介する。</p>
16:30～16:40	クロージング

※各セミナーの終了後にQ&Aの時間を設けます。

※当日の進行状況により、セミナー開始時間が前後する場合があります。あらかじめご了承ください。

© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.
実際の販売価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。
価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
標準販売条件はこちらをご覧ください。thermofisher.com/jp-tc HPLC173_A21020B

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

TEL: 0120-753-670 FAX: 0120-753-671

Analyze.jp@thermofisher.com

facebook.com/ThermoFisherJapan

@ThermoFisherJP

thermofisher.com

ThermoFisher
SCIENTIFIC